

まずは一度、お気軽にお出かけ賜り、月例会の様子を御覧下さいませよう。

# 十一月例会御案内 (平成二十九年・通算第三七〇回)

## 時代を刷新する会

### ○御案内

十二月二十日(水)十一時半より入館可、正午〜午後二時半 参議院議員会館一階一〇二会議室  
講題 東アジアの安全保障情勢を総括する!  
講師 飯田将史先生(防衛省・防衛研究所・主任研究官)

◎ 今年、正月早々、北朝鮮のミサイル発射で明け、先月十一月二十九日にはアメリカ本土全域をも射程とするICBM(大陸間弾道弾)の発射に至る。その間に、核地下実験と何回ものミサイル発射があり、正に今年には北朝鮮の挑発に世界が振り回された年と言ってよいでしょう。これに対し、アメリカ・トランプ大統領と日本の安倍晋三総理は、日米安全保障条約のもと、緊密に連絡をとり、そのたびに、世界に呼びかけて安全保障会議を開き、北朝鮮への経済制裁を行って来ました。大統領はかねてより、米本土が射程内に入るかが忍耐の限度と言ってきただけに、今回のICBM発射で、米朝開戦の可能性が出てきたといえ、この年内も予断を許しません。それにつけ、北朝鮮に近いロシア、中国がどう出てくるか、また、韓国の出方も心配です。そこで今回は、防衛省・防衛研究所の飯田将史主任研究官をお招きし、そうしたアジア各国の諸情勢を分析し、総括していただきます。奮っての御参加お待ち申し上げます。(清原記)

### □ 当日会費(昼食付き) 会員は四千円、非会員五千円。

当日連絡先 080-8836-6203 重田

080-9292-2620 高津

### 時代を刷新する会

(通話のみ)

http://www.jidaisassin.jp

出席 欠席 (いずれかに〇印を)

電話 03-3272-4320

FAX 03-3507-8587

御芳名

貴方様のFAX

メール

▽十二月十八日(月)までに出欠の御連絡賜りたく。

### ◎御報告

去る十一月十日(金)の月例講話会は、『男と女の脳の違い、その働きについて!』と題して、河村弘庸先生(医博、脳神経外科医、東京女子医科大学・脳神経外科元教授)に御講話をいただきました。お話しは、まず、脳の構造を明示し、脳の上部には大脳皮質、頭頂葉、後頭葉があり、その下には前頭葉、側頭葉、海馬など位置し、その役割を説明されました。その上で、人間の身体全体で六兆もの神経細胞があり、その内、脳の神経細胞は千数百億個にすぎない。その脳細胞もほとんど再生することなく、毎日十萬個も死んで行く。脳が老化するのもやむをえない。ボケと認知症の違いは、ヒントを出すと思いつくのがボケ、思い出せないのは認知症の疑いがある。認知症の七〇〜八〇%はアルツハイマー病によるもので、その症状の詳しい説明があり、また、「記憶」する脳の仕組みについても詳しい解説がありました。そうしたボケ、認知症、アルツハイマーなどの病気にならないための防止法についても話され、精神的ストレスを溜めないこと、よく眠ること、心の底から大笑いすること等々、御助言がありました。

脳神経外科医としての諸研究から、男の脳と女の脳とは構造・働き方が違うことが分かった。男は、もともと狩りや戦いが仕事なので、無口で一日平均七〇〇〇語しか喋らない。自分の悩みを友人に話すのも恥ずかしい。したがって孤独になりやすく、ボケやすい。これに対して、女性は、もともと子育てが仕事、そのためにコミュニケーションが必要なので、一日平均二万語も喋っている。その点でも、男と女が口喧嘩したら一般に男性は女性に勝てない。女性は自分の悩みを友人に話して精神的にも解放されるので、男よりボケにくい等々、面白い話が沢山あり、大層勉強になりました。(清原記)

### ▽「時代を刷新する会」とは、

「何事も人類・国民のためになることは、時代を先取りして、積極的に取り組もう」との趣旨で、昭和五十六年、岸信介元総理によって創設されたシンクタンクです。晩年の岸信介元総理がそうであったように、超党派・超派閥で、真に国を憂える有志により構成されています。

の部会と、五、六の委員会があり、これまでに百三十七本の要請書を時の政府へ提出している。

第二代会長は、木村睦男元参議院議長、第三代会長が櫻内義雄元衆議院議長。第四代会長の

塩川正二郎元財務大臣は、九十歳を機に辞任。第五代会長代行として、江口一雄元衆議院議員。

その後、平成二十七年四月から、第六代会長代行として、岸信夫衆議院議員、前外務副大臣、現在は議院運営委員会理事・自民党国会対策委員会副委員長が就任している。

▽事務局電話(03)3272-4320 専務理事・清原淳平、総務 重田、高津